

性の多様性や性的マイノリティとは？

「LGBT」とは

LGBT（エル・ジー・ビー・ティー）とは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をとって組み合わせたものです。

LGBT以外にも、男性・女性どちらに対しても恋愛感情を抱かない人（アセクシュアル（A:Asexual））、「こころの性」を男性・女性のいずれとも明確に認識していない人（エックスジェンダー（X:Xgender））や、自身の性を決められない・分からない人（クエスチョニング（Q:Questioning））など、さまざまな人がいます。

（LGBTにこれらの人を加え、「LGBTQ」や「LGBTQ+」と表記されることもあります。また、これらに該当する人はLGBTQも含めて人口の約8%※2や約9%※3いるともいわれていますが、人口に占める割合が少ないことから、性的マイノリティと言われるといわれることもあります。）

※1：トランスジェンダーのすべてが必ずしも性別適合手術など、医学的な処置を望んでいるわけではありません。
からだの性の違和感がある度合いは様々で、こころの性に合わせた服装にすることで、心が落ち着く人もいます。
※2：2016年（平成26年）博報堂DYグループLGBT総合研究所調べ
※3：2020年（令和2年）電通ダイバーシティ・ラボ調べ

Lesbian	レズビアン	性的指向
女性の同性愛者（女性で女性が好きの人）		
Gay	ゲイ	
男性の同性愛者（男性で男性が好きの人）		性的指向
Bisexual	バイセクシュアル	
両性愛者（同性も異性も好きになる人）		
Transgender	トランスジェンダー※1	性自認
からだところの性が一致しないため、からだの性に違和感を持ったり、こころの性と一致する性別で生きたいと望む人		

（「こころ やわらかく」（人権施策推進課）より）

ワークⅠ どう思いますか？

- あなたは、「性の多様性」や「性的マイノリティ」という言葉から、どんなことをイメージしましたか。

ワークⅡ 考えてみましょう！

- 性的マイノリティ当事者の方は、日常生活の中でどのような困り感を感じていると思いますか？
- もしも家族や友人から「性に関する悩み」を打ち明けられたら、どのように対応しますか？

ワークⅢ 語り合おう できること！

- 性の多様性を互いに認め、社会において誰もが「自分らしく生きていける」ようにするために、自分たちができることを考えましょう。

いろんな問題が起こっています

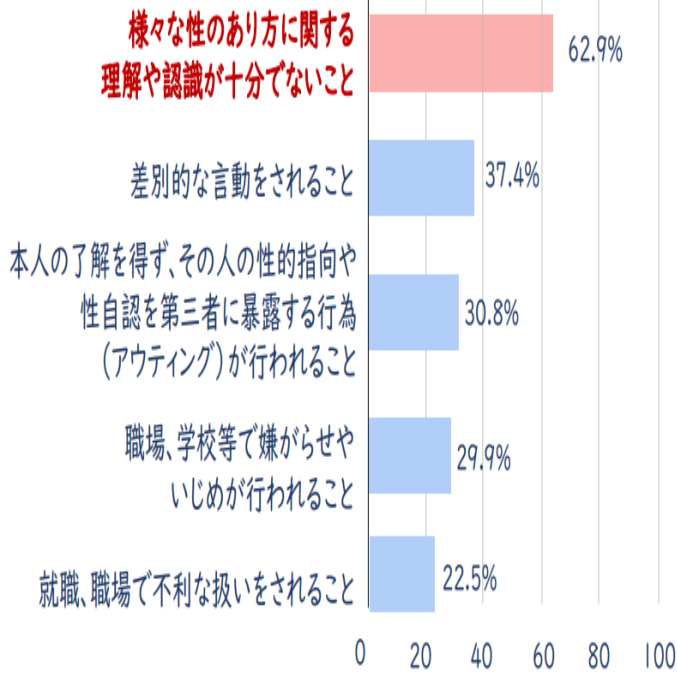
性の多様性やジェンダーアイデンティティに関する理解や、社会における認識が課題であり、性的マイノリティ当事者の方が身近にいることを考えましょう。(世界人口の約8%、学校の教室では約1～2%の児童生徒が該当するとされています。)

資料① 令和3年度人権に関する県民意識調査報告書より

資料② 「公益財団法人 人権教育啓発推進センター
「みんなが自分らしく～性の多様性を考える～」

性的指向・性自認・性別表現」より
性同一性障害における種々の問題

Q LGBTなどに関する事柄で、人権上、特にどのようなことが問題だと思いますか。(3つまで回答)



滋賀県人権施策推進課「令和3年度人権に関する県民意識調査」より

性別違和感を自覚し始めた時期

	全体 (n=1,167)	MTF (n=431)	FTM (n=736)
小学入学以前	660 (56.6%)	145 (33.6%)	515 (70.0%)
小学低学年	158 (13.5%)	67 (15.5%)	91 (12.4%)
小学高学年	115 (9.9%)	56 (13.0%)	59 (8.0%)
中学生	113 (9.7%)	74 (17.2%)	39 (5.3%)
高校生以降	92 (7.9%)	77 (17.9%)	15 (2.0%)
不明	29 (2.5%)	12 (2.8%)	17 (2.3%)

「学校の中の『性別違和感』を持つ子ども(性同一性障害の生徒に向き合う)」より

中原祥也(岡山大学ジェンダークリニック 岡山大学大学院保健学研究科 GID(性同一性障害)学会理事長)

トランスウーマン= MTF (Male to Female) …「身体性」が男性で「心の性」が女性の人(女性として生きる/生きたい人)

トランスマン= FTM (Female to Male) …「身体性」が女性で「心の性」が男性の人(男性として生きる/生きたい人)

岡山大学ジェンダークリニックが2013(平成25)年に行った調査では、受診した1,167人のLGBT等当事者のうち、**小学校入学以前に約60%弱が、中学生までに約90%が性別違和感を自覚**していました。また、約60%は自殺を考え、約30%が自傷・自殺未遂や不登校の経験がありました。

思春期前の性別違和感は、成人まで持続しない場合もあるため、一人ひとりのニーズをしっかりと把握し、柔軟な支援・対応をしていくことが必要になります。

知ってほしい 「カミングアウト」と「アウティング」

(公益財団法人 人権教育啓発推進センター「みんなが自分らしく～性の多様性を考える～」 性的指向・性自認・性別表現」より引用)

LGBT等の当事者が、自ら性的指向や性自認について、**他者に開示することを「カミングアウト」といいます**。カミングアウトは、自分のセクシュアリティを受け入れ、肯定する過程でもあり、**自分らしく生きていくための手段の一つ**です。これに対して、**本人の許可なく、LGBT等であることを他人に暴露することを「アウティング」といい、2015年8月には国立市の一橋大学で痛ましい事件がありました。**

アウティングは、LGBT等の当事者の**大事な居場所を奪うばかりか、重大な人権侵害につながる恐れがあります**。ぜひ性の多様性を認め合い、性に関する人権について、語り合える場をもちましょう。

性の多様性を認め合い、すべての人が
自分らしく生きられる社会を、みんなでつくりましょう。

内閣府



【内閣府ホームページ】

←【内閣府 性的指向・ジェンダーアイデンティティ理解増進】

【国立市ホームページ】「国立市女性と男性及び多様な性の平等参画を推進する条例」

(2018年、全国の自治体で初めて条例に

「アウティングの禁止・カミングアウトの自由の保障」を盛り込みました。)



② その他 性的指向・ジェンダーアイデンティティ

1. 目的

これまで、性別は「女性」「男性」の2つのみという認識がされていました。しかし、性に関する考え方は多様であり、顔や人格と同じように、性は個人によって様々です。「性のあり方は虹のようなグラデーション」と言われています。これまでの当たり前にとらわれず、個人の性に関する人権意識をもち、互いに尊重することの重要性を学びましょう。

2. 進め方（ワークシート活用例）

ワーク

進め方とファシリテーターの視点

I

1 「性の多様性」や「性的マイノリティ」という言葉からイメージできることを考えてみましょう。

《視点1》 色や服装、趣味等で男女のイメージを持っていることが多いと考えられます。

（例：服は赤やピンク系の色を好む→女性、日曜大工や力仕事が好き→男性）

性に関してこれまでの経験や先入観など「自分の当たり前」が、実は性的マイノリティ当事者を取り巻く、様々な偏見や差別につながっている、ということに気づきます。

2 資料①を参考にして、性の多様性やジェンダーアイデンティティに関する問題について確認してみましょう。

《視点2》 令和3年度に滋賀県民の約 63%が「様々な性のあり方に関する理解や認識が十分でない」と回答しています。

私たちの周囲にいる人々で性的マイノリティ当事者の方が身近にいるという認識に立つことが、性の多様性やジェンダーアイデンティティに関する理解や認識を深める第一歩となります。

II

●資料②、「知ってほしい『カミングアウト』と『アウティング』」を参考にして、LGBT等の当事者の困り感について話し合ってみましょう。また、自分たちの家族や友人など、身近な人から「性に関する悩み」を打ち明けられたら、どのように対応することが望ましいか考えましょう。

《視点3》 なぜ若い世代のLGBT等の当事者が自殺を考えることの割合が高いのか、その背景にある困り感や悩みについて考えます。相談したくてもできない、他の人に言いふらされてしまうのではないかなど不安感や孤独感について当事者意識をもてるようにします。

《視点4》 LGBT等に関する「カミングアウト」「アウティング」について正しく理解することが必要です。LGBT等の当事者にとって、カミングアウトすることはたいへん勇気が必要な行動です。

打ち明けられたときには「話してくれてありがとう」と、まずはLGBT等の当事者の不安や悩みに寄り添いましょう。そしてカミングアウト後について「どうしたいか」「他に話せる人はいるか」についてしっかり確認することが大切です。

人権教育啓発
センター



参考 「みんなが自分らしく～性の多様性を考える～ 性的指向・性自認・性別表現」（滋賀県公式HP → 県民の方 → くらし → 人権 → 啓発冊子 に記載）

「みんなが自分らしく～性の多様性を考える～ 性的指向・性自認・性別表現」

（公益財団法人 人権教育啓発推進センター）

III

●誰もが「自分らしく生きていける」ようにするために、自分たちができることを語り合いましょう。

《視点5》 「女性（は）男性（は）こうあるべき…」という価値観を押し付けることで、性に関する偏見や差別で生きづらさを感じている人がいます。「マイクロアグレッション（小さな攻撃性：無意識の偏見や差別）」のように、傷つけようとする悪意がなくとも、人を傷つけてしまうことがあることを踏まえ、これからの社会でみんなが「自分らしく生きていける」ように、小さなことからでも今から自分にできることを考えます。

3. より深く学ぶために（資料）

- ・「ちょっと勉強 人権の友」（公益財団法人 滋賀県人権センター）
- ・「じんけん通信」（滋賀県ホームページ）

滋賀県人権センター



滋賀県 じんけん通信

